

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

## ルカ新聞

No.31  
2016.12.

上高地 2016.5.18

福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。「正しい者は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

ローマの信徒への手紙1章17節

柘ざ  
榴くろ

これはルターが神との関係で悩んでいた時、この言葉によって新境地を開いたといわれる箇所、信仰があれば神様は無条件に義を与えてくださるということです。これを知った時ルターは「全く生まれ変わったようで、まるで広い門から天国に入ったように感じた」と述べています。2017年、10月31日は、宗教改革500年目の記念日となります。500年前のこの日にルターはヴィッテンベルク教会のドアに95か条の提題を貼り出しました。今年は世界中でカトリックとプロテスタントが一緒になってこの記念日を祝っています。それまでは善い行いをしなければ救われないとされていたことが、ただ神様を信じるだけで救われるということです。救いは神様が一方的に与えてくださる、人は善行をするから救われるというやり取りではなく、神様を信じていればそれだけでよいのです。この考えが発展して宗教改革に結びついてゆきました。人間のすることといえば、自分では大したこと、立派なこと、褒められるべきことなどと思えても、神様から見れば些細なこと、そんなことで天国に行けるか否かが左右されることはない。むしろ神様がいつも助けてくださっていると自覚し、神様がこんな小さな私でもいつも救ってくださっているということを感じて生きることが最も大切といえます。今も私は助けられていると信じるだけでよいのです。恵みは一方的にやってくる、明るい未来が待っています。





## 巻 頭 言

院長 宇津宮 隆史

今年の最大のトピックは熊本・大分地震でしょう。幸いにも当院は何も被害はなかったのですが、「熊本・大分」と何度も報道されたため、学会などで知り合いに会うたびに「大分は大丈夫ですか」と聞かれ、むしろ恐縮しています。それに比べ、熊本は被害が大きく、市民病院が機能不全に陥ったため、周産期医療が困難となり、熊本大学が急遽一手に引き受けたとのことでした。熊本には生殖医療クリニックがいくつかありますが、伝え聞いたところによるとかなり被害が大きいとのことでした。9月に熊本に行きましたが、あの熊本城の姿にはショックを受けました。

さて、当院のニュースですが、今年は大分県から、熊迫が生殖補助医療管理胚培養士試験に合格し、全国で19人いる管理胚培養士のうち2人が当院のスタッフとなりました。また、城戸が臨床細胞遺伝学認定士試験に合格しました。大分県では初めてです。さらに、看護部では手島が日本看護協会の不妊症看護認定看護師の資格を得ました。木曜日に上京し、金曜、土曜と講義を受け、日曜日には夜勤をするというハードスケジュールを9カ月間行った結果です。全国で164名のうち最年少です。

今年手術関連機械をそろえました。以前からある3D腹腔鏡カメラ、プラズマ滅菌器に加え、卵管鏡装置 (FT)、超音波切開器、リガシユア、アルゴンレーザーなどです。これらで腹腔鏡手術が格段に行いやすくなりました。特にアルゴンレーザーには重宝しています。ますます手術が楽しくなりました。

さて、12年前から日本卵子学会 (旧・日本哺乳動物卵子学会) で取り組んでいる培養液作成ですが、いよいよ佳境に入ってきました。すでに胚盤胞までの試験を終了し、現在、安全性の検証に入っています。これが完成すると、世界で初めてのヒト卵管内液の組成分析に基づいた胚培養液の誕生です。現在出回っている胚培養液のほとんどは外国製で、何らかの疑問が生じても問い合わせが困難な場合があり、またその組成成分に不明な点がある場合もしばしばです。しかし、今度は日本製であり、組成成分の公表に加え、その開発期間のデータ分析や成績、問題点などが明らかにされているので安心して使用できると思います。

また、長年期待されてきた着床前スクリーニング (PGS) が、いよいよ日本産科婦人科学会の主導で特別臨床研究パイロットスタディーが開始されるようになりました。PGSについては、これまで日本では禁止とされてきましたが、欧米では通常の治療の一環として行われており、着床前の遺伝子検査の半分以上がPGSで、むしろ着床前診断 (PGD) のほうが少なく、さらに男女生み分けも盛んに行われているのが現状です。それに比べ、日本では全く行われておらず、その成績を比較しようにもできない状態で、議



論にもなりません。2014年のART実施数は39万件を超え(世界一です)、ARTによって生まれた子どもは4万人を超えています(世界一です)。日本の全出生児のうち21人に1人はART児という時代です。その一方、ARTを受ける患者年齢は40歳が最も多く、半分以上が低刺激-自然周期法で行われており、これらが日本の採卵あたりの挙児成功率の低さ(世界一です)の原因とってよいでしょう。低刺激-自然周期治療の治療開始あたりの妊娠率は4%とのことです。調節刺激周期であれば35%は超えるでしょう。患者さんのためにはどの方法がよいのか、よく考えなければいけない時期にきています。PGSも障害者団体が反対していますが、私たちはただ、流産しない胚を選びたいだけです。高齢化している環境でいかに染色体異常のない胚を移植するかが流産を避ける最も良い方法です。それは現在年間300億円を超えて交付されている特定不妊治療費助成金の有効利用につながります。当院で試算したところ、ARTを行えばこの助成金は全員に交付されますが、そのうち、妊娠してめでたく赤ちゃんを授かった方への交付は1/4でしかありません。3/4は妊娠しなかった、または流産した方への交付です。ここで妊娠成功率の高い、流産しにくい胚を選ぶ方法を考えると、PGSには期待が持て、助成金の有効利用につながると思います。また、このような妊娠困難例が増加している中でPGSを行うことは、現在全国で約40万回行われているARTを受ける患者さんたちの「自由に治療法、検査法を選ぶ」権利だと思います。早くPGSについての指針を出さなければ、患者さん、生殖医療施設、日本産科婦人科学会の三者ともが傷つくことになると危惧しています。

世界一の日本の生殖医療ではありますが、まだまだ不十分なことが多々あります。これらの一つひとつに丁寧に向き合っていくことが我々の責務であろうと思います。

別府平和園は今年、大きな転機を迎えました。まず、園長に平和園の生き字引で、最も頼りになる近藤邦子さんが就任しました。そして今までになかった副園長という職務を新設し、一般社会での経験が豊富な藤本正彦さんを迎えました。新体制になった直後、熊本・大分地震が襲来し、さっそく新スタッフの采配が試されたようなものでした。当日は余震が続き、一晩毛布にくるまって、平和園の中庭で子どもたちとスタッフ全員と一緒に過ごしたとのことで、子どもたちも本当に心強かったと思います。子どもたちが今後も本当に安心して過ごせる平和園であるよう、私たちも頑張りますので、皆様のご支援よろしくお願いたします。





# セント・ルカ産婦人科 アルバム

## 第23回セント・ルカセミナー

2016年6月12日（オアシスタワーホテル）

今年は、「着床前診断」をメインテーマに基礎、臨床、看護の分野から8名の先生方にご講演していただきました。



### プログラム

〈講演1〉 座長：大分大学産科婦人科学 教授  
 榎原 久司 先生  
 「網羅的手法による次世代型着床前診断」  
 藤田保健衛生大学総合医科学研究所  
 分子遺伝学研究部門 教授 倉橋 浩樹先生

〈講演2〉 座長：京野アートクリニック 理事長  
 京野 廣一 先生  
 「単一遺伝子疾患の着床前診断 (PGD) の  
 遺伝子診断のみを外部委託し、  
 PGDを行う新しい試みに関する検討」  
 セントマザー産婦人科医院 院長 田中 温 先生

〈指定発言1〉  
 座長：ART 岡本ウーマンズクリニック 院長  
 岡本 純英 先生  
 「ボストンレポート：新しい時代の  
 出生前診断／着床前診断」  
 新古賀病院婦人科 嘱託医 齋藤 仲道 先生

〈指定発言2〉  
 「PGS に対してエンブリオロジストは  
 何を求められるだろうか？」  
 群馬パース大学 教授／  
 日本リプロジェネティクス 代表 荒木 康久 先生

〈ランチョンセミナー〉  
 座長：木場公園クリニック 院長 吉田 淳 先生  
 「出生前検査の質保証」  
 株式会社エスアールエル 臨床検査事業検査部門  
 担当部長 別府 弘規 先生

〈講演3〉 座長：大分大学医学部産科婦人科  
 診療教授 河野 康志 先生  
 「PCOS の発生病態論」  
 京都大学 名誉教授／  
 NPO法人 生殖発生医学アカデミア 理事長  
 森 崇英 先生

〈講演4〉  
 座長：医療法人 浅田レディースクリニック 理事長  
 浅田 義正 先生  
 「看護職としてできること  
 — 遺伝医療の現場から —」  
 聖路加国際大学遺伝看護学 准教授／  
 聖路加国際病院遺伝診療部 青木 美紀子 先生

〈講演5〉  
 座長：大分大学 名誉教授 宮川 勇生 先生  
 「わが国の少子化を考える—差異と差別—」  
 内閣官房参与／  
 慶應義塾大学 名誉教授 吉村 泰典 先生



テーマが「着床前診断」で、参加者は総勢113名でした。北海道、仙台、東京、名古屋など遠方からも多くの方にご参加いただき、皆様の、この分野についての関心の高さがうかがえました。今後、この技術は早急に治療に組み込まれることと考えます。

◀後列左から 谷口俊一 九州凸版印刷㈱会長、甲斐由布子 先生、別府弘規 先生、青木美紀子 先生、榎原久司 先生、浅田義正 先生、京野廣一 先生、河野康志 先生、吉村陽子 先生、岡本純英 先生、吉田淳 先生、河邊史子 先生  
 ▶前列左から 齋藤仲道 先生、宮川勇生 先生、森崇英 先生、宇津宮隆史 院長、吉村泰典 先生、倉橋浩樹 先生、田中温 先生



# ESHRE2016 (フィンランド; ヘルシンキ)

(ヨーロッパ生殖医学会)

2016年7月4日～6日

会場 : Messukeskus Expo and Convention Centre Helsinki



## 院長先生もポスター発表されました。

発表演題 : Effect of vitrification-warming cycle at the blastocyst stage using two types of closed vitrification systems

多くの国の不妊治療の研究を勉強する貴重な機会を頂きありがとうございました。フィンランドでムーミン達がたくさん居る雰囲気を味わいながら、改めてスナフキンのような存在になれるといいなと感じました。  
(心理相談室・稗田)

発表演題 : Satisfaction with daily life and coping strategies in Couple Relationships and the psycho-education of Sexless Couples (SLCs)



初めて ESHRE に参加させていただきました。私は卵巣凍結についてのセッションを聴きました。新しい試みがいろいろとされていることを知りとてもいい刺激を受けました。世界の動きにもアンテナをはり、今後役に立てたいと思います。  
(研究室・小池)

発表演題 : The Effects of the Cancer Drug Cyclophosphamide on Mouse Fertility







# 研究室だより

## 生殖補助医療管理胚培養士に合格しました

全国で19名中の2名が当院です

平成14年より生殖補助医療胚培養士認定制度が開始し、今年、全国で胚培養士は1,326人となりました。

また、臨床の現場で培養士を管理・指導する立場の培養士として位置づけられる生殖補助医療管理胚培養士は、日本卵子学会と日本生殖医学会との共同で認定され、平成19年から審査が行われ、ARTの質的向上に寄与することが期待されています。現在、全国に19名の管理胚培養士がいます。当院では平成19年の審査開始年に1名(室長:大津英子)、今年、7回目となる審査で1名(熊迫陽子)合格しました。全国19名のうち2名が当院からの合格者となります。

ARTは世界的にみてもめざましい進歩を遂げていて、今後さらに研究や新技術が発展していくことが予想されます。

私たちは患者さんのために何をするべきかを常に考えながら、これからもますますセント・ルカのARTの技術向上のために精進してまいります。



## 臨床細胞遺伝学認定士に合格しました

大分県初!!

臨床細胞遺伝学認定士は、遺伝医学の深い知識と高度な技術に基づいて、染色体検査結果を的確に判断できるスペシャリストです。

日本人類遺伝学会のこの制度は、染色体検査の適切な実施を推進し、染色体検査の精度と技術の向上および臨床細胞遺伝学の発展を図ることを目的として1993年に設立されました。今年、当院より初めて(城戸京子)、大分においても初めての認定士が誕生しました。

昨今の研究と技術の進歩により、ヒトの染色体の詳細な情報が解析できるまでになってきました。今後は患者さんに適切な情報提供ができるよう、さらに勉強し頑張ってまいります。



城戸京子

熊迫陽子





# 看護部だより

## 体外受精・黄体期の 膣錠、膣坐薬について

### ホルモン補充周期

体外受精においては、採卵したその周期に胚移植を実施する方法(新鮮胚移植)と、採卵後に育てた胚を一旦凍結させ、以降の周期に融解して移植する方法(凍結胚移植)があります。新鮮胚移植に比べ、凍結胚移植の方が妊娠率が高いため、当院では原則全例凍結胚移植を行っています。凍結胚移植の中でも、子宮内膜環境を調節するためにエストロゲンとプロゲステロンを継続的に投与する周期(ホルモン補充周期)における凍結胚移植が一般的に行われています。

### 黄体補充

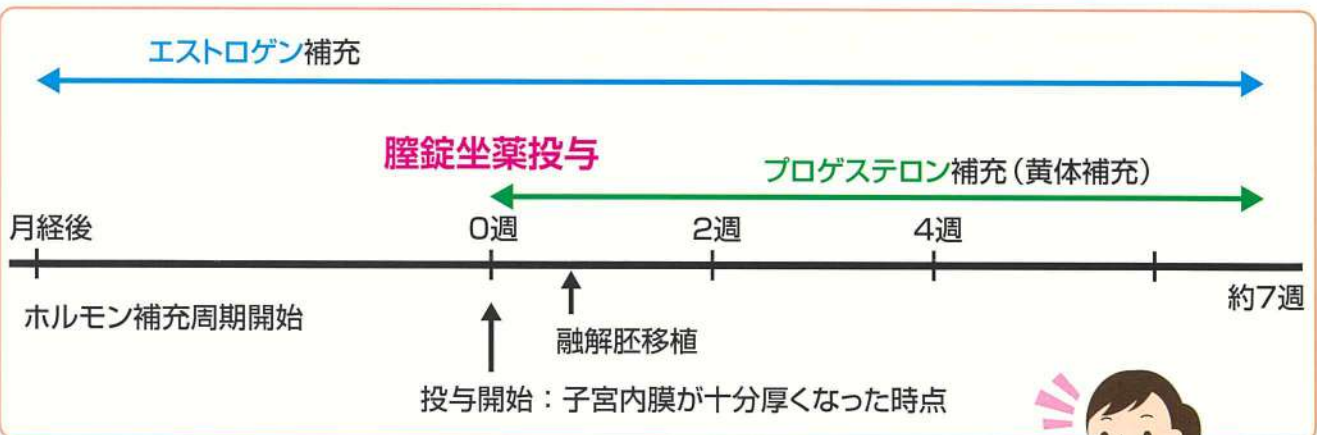
黄体から分泌されるプロゲステロンは妊娠に重要なホルモンです。体外受精を受ける患者さんにおいては、このプロゲステロンが不足することが知られています。そこで、黄体期にプロゲステロンを服用、注射または膣錠・膣坐薬を投与することで不足したプロゲステロンを補います。これを黄体補充と言います。服用薬や注射薬は合成プロゲステロン剤ですが、膣錠・膣坐薬は天然型プロゲステロン剤ですので安全で膣から投与するため子宮に近く、高い効果が予測されます。

### 使用方法

医師の指定する日(ホルモン補充周期の中頃)から医師が処方する膣錠または膣用坐剤などを開始します。



- ルティナス膣錠 100 mg 1日3回
- ルテウム膣用坐剤 400 mg 1日2回
- ワンクリノン膣用ゲル 90 mg 1日1回
- ウトロゲスタン膣用カプセル 200 mg 1日3回



## Q & A

Q1

お薬を膣の中に挿入した後に動いたら出た気がします。大丈夫でしょうか？

挿入後、しばらくしてからでた場合は、薬が溶けても少量であればすでにお薬の有効成分が吸収されているので問題ありません。挿入したお薬がすぐに出てきた場合は、再度お薬を挿入して下さい。

Q2

外陰部や膣のかゆみなど症状が現れたらどうしたらよいですか？

病院に連絡をして下さい。この薬は自己判断で中止したり、使用回数を変更したりすると本来の効果が得られませんので宜しくお願いします。





# セント・ルカ産婦人科 アルバム



## クリスマス会

2015年12月25日

毎年恒例、患者さんも参加して一緒にクリスマス会を行いました。まず、吹き抜けの待合室で日本福音ルーテル大分教会牧師野村陽一先生のクリスマスのお話を聴き、アンサンブルルーチェの方々の素晴らしいクラシックの歌と演奏を楽しむことができました。多目的ホールに移動してお茶会では患者さんと一緒に手作りお菓子の家やリースのパンをいただきました。



野村牧師先生、院長先生、河邊先生から言葉のクリスマスプレゼントをいただき、患者さん同士でも交流を深めることができる機会の一つがこのクリスマス会です。





# お花見

2016年4月2日

日頃お世話になっている各病院の先生方、業者さんをお招きして平和市民公園にてお花見を行いました。  
まだ少し肌寒い中ですが、新入職員の出し物があったり、リコーダー演奏があったり、桜の木の下でバーベキューをみんなで楽しみました。



野村陽一 牧師先生



宮川勇生 先生





## 職員旅行 (信州)

2016年5月16日～18日

### 白川郷・立山黒部アルペンルート・上高地方面 (岐阜県、富山県、長野県)

2年に1度の職員旅行では、世界遺産白川郷の合掌造りを実際に見学でき、立山黒部アルペンルート、上高地ではたくさんの自然に触れることができました。



立山室堂平、雪の大谷  
(標高 2,450m)



この日は、積雪最高  
地点で11mでした。



梓川に沿ってハイキングをしました。  
天候にも恵まれ気持ち良く山と緑に  
癒されました。



上高地：穂高連峰を背に河童橋にて





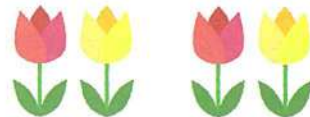
# 職員旅行 (長崎)

2016年5月・7月

軍艦島、ハウステンボスへ行きました。他部署の人ともゆっくり話せる機会となりました。



第1班 (5月)



第2班 (7月)



# 避難訓練

2016年5月・11月

1年に2回、院内全体避難訓練を実施しています。特別訓練として、消火器と消火栓の使い方を学びました。



5月



11月





# セント・ルカ産婦人科 開院24周年 2016年6月3日

スタッフ一人ひとりが責任を持って行動し、患者さんが安心して通院できるようなチーム医療を提供していきたいと思えます。

## 〈開院から2015年12月までの成績〉

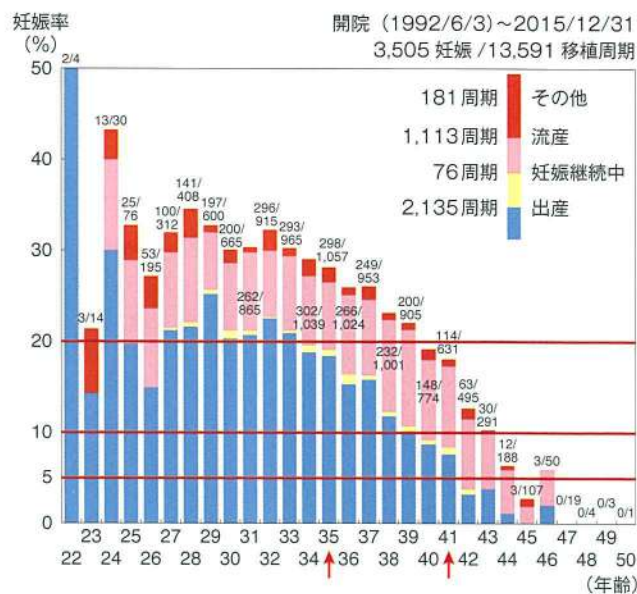
外来患者数 25,116人  
 男性 9,180人  
 女性 15,936人  
 拳児希望女性数 12,358人

妊娠件数 7,785件  
 妊娠に至らなかった女性 5,791人  
 患者あたりの妊娠率 53.1%  
 $[(12,358 - 5,791) / 12,358]$

※治療を途中で諦めた女性 5,568人  
 実妊娠率 96.7%  
 $[(12,358 - 5,791) / (12,358 - 5,568)]$

※諦めざるをえなかった  
 (無精子症、早発閉経、高齢など) 1,353人  
 いつの間にか諦めた人 4,215人

## 体外受精をしている患者さんの年齢別妊娠率







# 徳島 阿波踊り

2016年8月12日～13日

徳島市内全体が阿波踊りムードで徳島の暑い夏を楽しむことができました。また、普段見ることのできない院長先生のパワフルな踊りも拝見することができました！



◀右から濱（受付）、後藤（研究室）、戸高（看護師）

## 新人紹介



渡辺 千枝  
(看護部)

もうすぐ働き始めて一年が経とうとしています。

多くの患者さんとの出会いの中で学ばせていただくことがたくさんありました。

これからも一生懸命頑張ります。宜しくお願いします。



三重野 小百合  
(看護部アシスタント)

専門的な医療で初めてのことばかりですが、ひとつひとつ勉強していき、周囲のサポートに繋がるように一生懸命頑張ります。



# 受付より

## 不妊治療費助成金について

※助成金額の内容が一部変更になりました

区分		説明	大分県	大分市
助成金額	特定不妊治療	A 新鮮胚移植を実施	30万円	30万円
		B 採卵から凍結胚移植に至る一連の治療を実施 (採卵・受精後、胚を凍結し、母体の状態を整えるために1～3周期程度の間隔をあけた後に胚移植を行うとの治療方針に基づく一連の治療を行った場合)	39万円	39万円
		C 以前に凍結した胚による胚移植を実施	7.5万円	10万円
		D 体調不良等により移植のめどが立たず治療終了	15万円 <small>(初回のみ30万円)</small>	20万円 <small>(初回のみ30万円)</small>
		E 受精できず、または、胚の分割停止、変性、多精子授精などの異常授精等による中止	15万円 <small>(初回のみ30万円)</small>	20万円 <small>(初回のみ30万円)</small>
		F 採卵したが卵が得られない、又は状態のよい卵が得られないため中止	7.5万円	10万円
男性不妊治療		精巣内精子回収術 ※上限回数は6回、妻の治療開始年齢が40歳以上の場合は3回	1回目30万円 2回目以降15万円	
不妊治療一般	人工授精			10万円

## 特定不妊治療と男性不妊(精子回収術)を併せて実施した場合の考え方

妻 特定不妊治療 (ア)

精子回収術 (イ) 夫

① 特定不妊治療実施の場合

(ア) 特定不妊治療助成  
(A・B・D・E・F)  
+  
(イ) 男性不妊治療助成

② 採卵前に精子回収術を実施したが、精子が採取できなかった場合

(イ) 男性不妊治療助成のみ

③ 採卵後に精子回収術を実施したが、精子が採取できなかった場合(有効な卵が得られなかった場合も含む)

(ア) 特定不妊治療助成  
(F)  
+  
(イ) 男性不妊治療助成

④ 精子回収術を実施して精子は採取できたが採卵に至らなかった場合

(ア) (イ)とも助成対象外

D (体調不良による中止)

E (受精できずに中止)

初回のみ 15万円 → 30万円に増額

※一番最初の1回のみであり、  
2回目以降は15万円/回で変更なし

※大分市にお住まいの方は《大分市》から、大分市以外の方は《大分県》から助成金が給付されます。  
市町村独自の上乗せ助成がある場合がありますので、必ずお住まいの市町村へご確認ください。





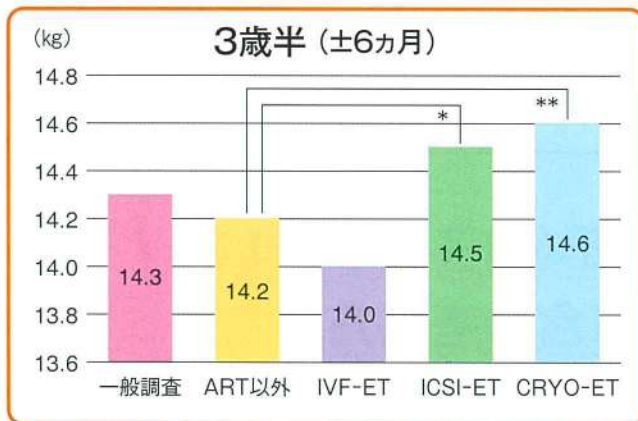
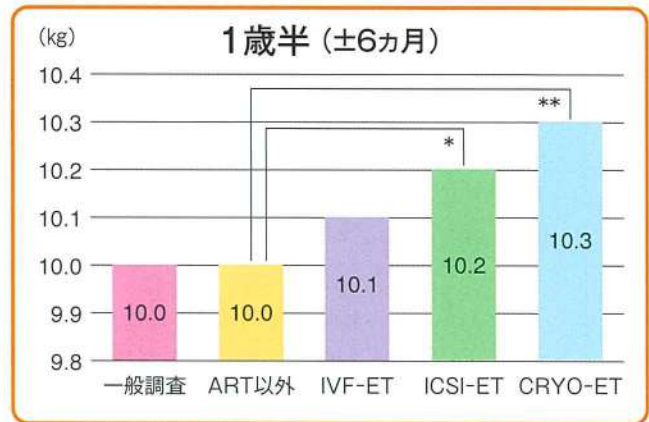
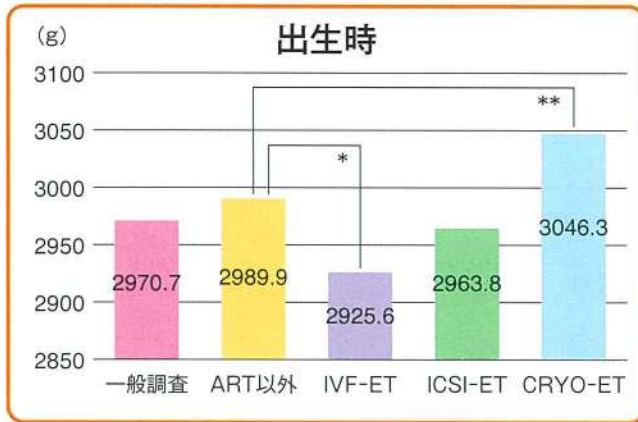
# 情報処理室より



当院では、卒業時にお子さんの長期的な発育調査のご協力をお願いしています。  
卒業生の皆さんが回答してくれたお子さんの成長記録の中から、今回はお子さんの体重についてフィードバックさせていただきます。

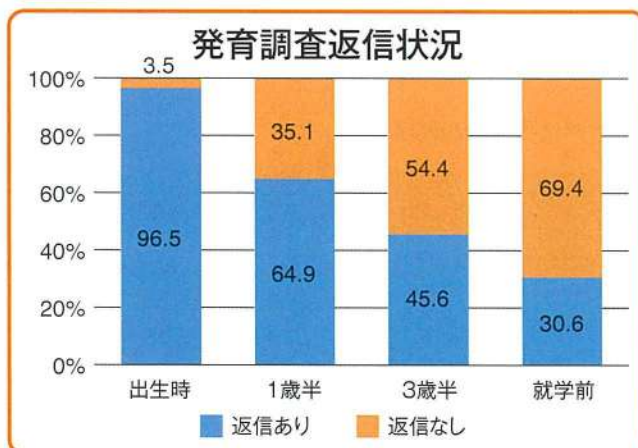
## 治療内容別 児の体重比較

\* P<0.05  
\*\* P<0.01



※一般調査は厚生労働省平成22年度乳幼児身体発育調査データを参考にしています  
ART = 生殖補助医療、IVF-ET = 体外受精胚移植、ICSI-ET = 顕微授精胚移植、CRYO-ET = 凍結融解胚移植

凍結融解胚移植は出生時の体重が重いとの報告が学会や論文等で発表されています。  
これは悪いことなのか、良いことなのか調査がされていますが、当院の調査では結局は就学頃にはどの治療方法で生まれたお子さんも成長度合いに差はないことがわかりました。



### 発育調査ご協力をお願い

左のグラフのように返信率は時間が経つにつれ、だんだん低くなります。

発育調査は皆さんのご協力なくして行えません。卒業されましたら、是非ご協力をお願いします。

また、転居の際は新住所のお知らせもお願いします。





# 心理相談室より



月日が経つのは本当に早いもので、今年もまた一年を振り返る季節となりました。  
治療を始めると、次の月経や注射の時期など先々のスケジュールを考えることが多くなり、治療が生活の中心になりがちで一年がとても早く過ぎたとお感じになる方が多いと聞きます。  
皆様はどうだったでしょうか？

## 不妊治療～流産～今後の治療や育児への思い

流産後の患者さんと接すると、「頭の中では染色体異常だとわかっているけど、気持ちがついていかないんです…」と、後悔や喪失感を抱えている方がたくさんいらっしゃいます。

そこで今回は、不妊治療を通して、流産を経験し、また今後の治療や育児をも視野に入れ考えた時に、夫婦で悲しみをどう乗り越え、支え合いながら過ごしてきたかを面談の中かからまとめました。

### 不妊治療～流産

#### 不妊治療（身体・精神・社会的苦痛）

- 年齢・卵子の老化
- 不成功が続く
- 焦り・不安
- 仕事との両立・経済
- 世間の無知

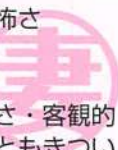


- 妻の負担を見るのが苦しい
- どう対応していいのかわからない
- 精子が悪い
- 経済的な不安
- メリット・デメリットを考える
- 年齢の限界を知らなかった後悔

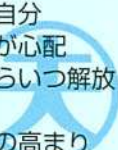


#### 流産（流産時・流産後）

- 処置の痛さ・怖さ
- 着床後の不安
- 2回目の流産  
(流産時)冷静さ・客観的  
(流産後)心身ともきつい



- 何もできない自分
- 妻の落ち込みが心配
- 妻が苦しみからいつ解放されるのか
- 諦めの気持ちの高まり



#### プラスの気持ち

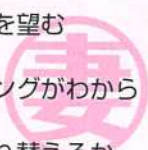
- 夫の支えに感謝
- 妻の頑張りに感謝
- 周囲の理解
- まだ希望はある
- 子どもがほしい気持ちが高まった



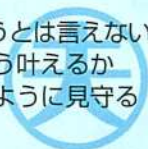
### 今後の治療～子どもを持つこと・育児への思い

#### 今後の治療

- 最大限の治療を望む
- 年齢で区切り
- 終えるタイミングがわからない
- 理想をどう切り替えるか

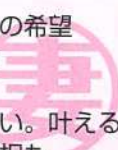


- 命を繋ぎたい
- 治療を止めようとは言えない
- 妻の願いをどう叶えるか
- 今までと同じように見守る
- 経済的心配

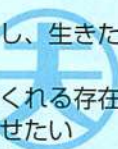


#### 子どもを持つこと

- 自分たちの子どもへの希望
- 家族への理想の強さ
- 母子の絆
- 子どもを育ててみたい。叶える為には養子という選択も



- 親になりたい
- 人として世に送り出し、生きた証を残したい
- 人間性を受け継いでくれる存在
- 妻に子育てを体験させたい
- 血縁にはこだわらない



#### 迷い・葛藤

- 天に任せる
- 赤ちゃんのイメージがいつ離れるのか
- 希望は持たない
- 気持ちの切り替えが難しい
- いつも気持ちが揺れている



個人差もありますが、流産は心身への負担が大きく、次の治療や妊娠への不安が高くなり、精神的回復に時間がかかる方がいらっしゃいます。感情失禁があるのは自然な心因反応なので、ご夫婦で悲しみを共有することが大切です。しかし、気持ちが回復せず、日常生活になかなか戻れない日が続くようであれば、一度ご相談ください。また、流産された患者さんには、こちらからお声かけをすることもあります。



# 医局より

新しい先生が来ました (^o^)

かい ゆふこ  
**甲斐 由布子 先生**  
を紹介します！



初めまして  
よろしくお願  
い  
します！

趣味は？

読書と映画鑑賞かな？！  
最近をよくアミュプラザ大分に出没します。

## 自己紹介

今年の4月から勤務しております。甲斐由布子です。別府市で生まれ、小学生の時に大分へ転居し、その後ずっと大分で暮らしています。大学に入学した当初は小児科へ進むつもりでしたが、大学での勉強や実習、また当院のセミナーに出席するうちに女性の一生に関わることのできる産婦人科に惹かれました。

大学病院では不妊治療から妊娠・出産まで関わることができ、その患者さんだけでなく、ご家族にも大変喜んでいただけたことが生殖医療を志すきっかけにもなりました。地元大分のご夫婦のお役に立てればと思っています。

生殖医療は、医療の中でも最も進歩の速い分野の一つです。わかりやすい説明を心掛けてはいますが、何かありましたらお気軽にご質問ください。

## 経歴

- 2006年 大分大学医学部学科卒業
- 2007年 大分県立病院卒後臨床初期研修医
- 2009年 大分大学医学部産科婦人科学講座 医員  
大分大学医学部附属病院、中津市立中津市民病院等で研修  
日本産科婦人科学会産婦人科専門医取得。
- 2013年 大分大学医学部附属病院 産婦人科病院特任助教
- 2015年 医学博士(大分大学)取得
- 2016年 セント・ルカ産婦人科勤務

# 厨房より

今回は7月の七夕にお出しするスイーツを紹介します。

七夕飾りをつくってお膳に添えます。  
織姫と彦星の幸せな再会を祈って。



カルピスゼリーと  
プレーンゼリー2層に  
なってます。  
カラフルな星は  
パプリカです！



こちらは、定期的に  
開催している  
オリーブの会や  
ガーネットサークルに  
お出ししている  
おやつです。

サークルのみなさん、  
今回のおやつは  
こんな感じです！  
ワイワイ楽しく  
くつろいでくださいね。



にんじんケーキ



パンナコッタ



フィナンシェ



ハートのプチチョコ





# 2016年を振り返って

<p>01.04 新年会(セント・ルカ多目的ホール)</p> <p>2015年度 不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島)</p> <p>01.08 第91回 新患教室 参加者77名 参加(田川、越名、小池、浦川、北田、岡田、神田)</p> <p>01.09 第202回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>01.12 第228回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(院長)</p> <p>01.14 2015年度 不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島)</p> <p>01.15 第221回 体外受精教室 参加者44名 参加(田川、足立、小池、城戸、藤田、神田、河邊)</p> <p>01.16 仙台 ARTクリニック内覧会 参加(院長)</p> <p>01.17 大分県医師会がん精密検診協力医療機関研修会(大分) 参加(河邊)</p> <p>01.22 2015年度 不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島)</p> <p>01.23 第64回 ガーネットサークル OG 1名、参加者5名</p> <p>01.23 第77回 日本エンドメトリオシス学会(熊本) 参加(後藤香、長木、院長)</p> <p>発表:「子宮内膜症及びその他の腹腔鏡下手術が卵巣予備能に与える影響:前方視的研究」(院長)</p> <p>01.26 読売新聞記者 取材の高ご来院</p> <p>01.29 2015年度 不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島)</p> <p>01.30 第6回 第10期オリーブの会 参加者3名</p> <p>01.30 福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長)</p> <p>01.31 あすか製薬主催 第6回 ART座談会(東京) 参加(院長)</p> <p>講演:「移植方法と黄体補充」(院長)</p>	<p>04.18 平成28年度 大分大学医学部6年次産婦人科実習 倉富由理さん(～4月28日まで)</p> <p>04.23 第65回 ガーネットサークル OG 1名、参加者4名</p> <p>04.23 第68回 日本産科婦人科学会(東京) 参加(甲斐、院長)</p>
<p>02.05 2015年度 不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島)</p> <p>02.06 第92回 新患教室 参加者48名 参加(田川、越名、長木、戸高、北田、岡田、神田)</p> <p>02.07 がんと生殖に関するシンポジウム2016(東京) 参加(小池、越光)</p> <p>02.09 院内感染研修:冬の感染症～インフルエンザ～(担当:看護部)</p> <p>02.09 第203回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>02.10 第17回 別府遺伝学セミナー(別府) 参加(城戸、大津、院長)</p> <p>02.13 第222回 体外受精教室 参加者77名 参加(油野、田川、足立、小池、齊高、松土、藤田、神田)</p> <p>02.14 JISART 臨床研修生入担当説明会(東京) 参加(山路、安部)</p> <p>02.21 第13回 日本生殖心理学会・学術講演会(東京) 参加(小池、神田)</p> <p>発表:「流産を経験した夫婦の PGS(着床前スクリーニング)に対する語りの分析」(神田真由美)</p>	<p>05.07 第64回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者47名 講師(越名(受付)、後藤裕(看護師長)、神田(臨床心理士)、院長、 わさだかたりつけ医院泌尿器科クリニック 緒方俊一先生) 参加(山路、田川、青木、越名、長木、安東、三重野、生野、浦川、足立、後藤香、神田、院長)</p> <p>05.10 第206回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>05.14 第8回 第10期オリーブの会 参加者2名</p> <p>05.14 日本卵子学会(新潟) 参加(城戸、熊迫、院長)</p> <p>座長:一般講演「胚発生①」(院長)</p> <p>発表:「ヒト胚盤胞における内細胞塊と栄養外胚葉のモザイク率に関する検討」(城戸京子) 「Strict criteria 精子形態評価法により媒精法を決定する意義について」 - rescue ICSIの成績との比較-」(熊迫陽子)</p> <p>05.15 日本卵子学会 第15回 地地開発委員会(新潟) 参加(院長)</p> <p>05.15 日本卵子学会および日本生殖医学会認定 生殖補助医療管理胚培養士資格取得(熊迫陽子)</p> <p>05.16 職員旅行(倉川坂)</p> <p>参加(山路、安部、青木、瀧、大城、越名、小池、佐藤、長木、大津、戸高、足立、松元、 越光、後藤香、甲斐、河邊、事務長、院長)</p>
<p>02.22 日本産科婦人科学会 PGSパイロット試験に関する実務者会議(東京) 参加(院長)</p> <p>02.23 第119回 大分県周産期研究会(大分)</p> <p>参加(山路、安部、油野、青木、瀧、足立、越名、小池、佐藤、後藤香、熊迫、長木、浦川、 坂本、北田、齊高、赤嶺、川村、足立直、松元、藤田、越光、後藤香、神田、河邊、院長)</p> <p>発表:「初診時のセックスレス夫婦の生活充実感と夫婦関係コーピング方略について」(神田真由美)</p> <p>「当院で妊娠生まれた児の健康調査」(院長)</p> <p>02.24 読売新聞記者 取材の高ご来院</p> <p>02.27 第63回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者83名 講師(越名(受付)、後藤裕(看護師長)、神田(臨床心理士)、院長) 参加(安部、田川、越名、佐藤、赤嶺、川村、足立直、後藤香、神田、院長)</p> <p>02.27 2015年度 不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島)</p>	<p>05.16 職員旅行(長崎1泊) 参加(油野、熊迫、坂本、赤嶺)</p> <p>05.21 第225回 体外受精教室 参加者70名 参加(油野、田川、瀧、小池、安東、三重野、生野、齊高、松土、松元、神田)</p> <p>05.23 平成28年度 大分大学医学部6年次産婦人科実習 若山愛海さん(～6月3日まで)</p> <p>05.26 大分県立看護科学大学(大分) 講義 参加(安部、田川、安東、三重野、生野、松土)</p> <p>講義:「不妊症講座」(院長)</p> <p>05.28 第55回 JISART 拡大理事会(岡山) 参加(院長)</p> <p>05.28 第8回 JISART 心理教育セミナー(岡山) 参加(神田)</p> <p>05.28 第9回 JISART 受付教育セミナー(岡山) 参加(越名)</p> <p>05.28 第9回 JISART ラボ教育セミナー(岡山) 参加(城戸)</p> <p>05.28 第13回 JISART 看護教育セミナー(岡山) 参加(越光)</p> <p>05.29 第14回 JISART シンポジウム(岡山) 参加(越名、城戸、越光、神田、院長)</p> <p>05.31 院内全体研修:遊覧訓練(担当:情報処理室・厨房・心理療育相談室)</p>
<p>03.01 院内全体研修:遊覧訓練(担当:看護部)</p> <p>03.05 第7回 第10期オリーブの会 参加者3名</p> <p>03.05 日本生殖衛生学会役員会(東京) 参加(院長)</p> <p>03.06 第11回 日本生殖衛生学会・学術集会(東京) 参加(佐藤、城戸、院長)</p> <p>座長:ランチョンセミナー「IVAの現状と未来」(院長)</p> <p>発表:「体外成熟培養(IVM)後妊娠に至った症例における顕帯血 及び流産絨毛のメチル化状態からみた安全性の確認」(佐藤真由美)</p> <p>「ヒト胚盤胞における内細胞塊と栄養外胚葉のモザイク率に関する検討」(城戸京子)</p> <p>03.08 第204回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>03.09 株式会社バラスポ フリーマガジン「ジネコ」夏号(Vol.30)取材</p> <p>03.12 第223回 体外受精教室 参加者67名 参加(田川、越名、熊迫、齊高、松土、藤田)</p> <p>03.14 麻薬取扱者説明会(大分) 参加(院長)</p> <p>03.15 診療報酬改定に伴う県下一斉説明会(大分) 参加(田川、青木、瀧、大城、越名)</p> <p>03.16 第229回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(河邊、院長)</p> <p>03.20 日本 A-PART 学術講演会2016(東京) 参加(熊迫、後藤香、院長)</p> <p>座長:シンポジウム3「出生前診断の現状と着床前診断における課題」(院長)</p> <p>シンポジウム講演:「日本 A-PART 臨床研究年次報告2016」(院長)</p>	<p>06.01 イルミナゲノムサミット2016(東京) 参加(佐藤、城戸、大津、院長)</p> <p>06.02 福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長)</p> <p>06.04 第95回 新患教室 参加者58名 参加(田川、青木、越名、熊迫、安東、三重野、戸高、足立、神田)</p> <p>06.06 新職員 山村美紀、足立祥子(看護部)</p> <p>06.06 平成28年度 大分大学医学部6年次産婦人科実習 渡辺梓哉さん(～6月17日まで)</p> <p>06.07 安全管理研修:カルテの取り扱いについて(担当:安部)</p> <p>06.12 セント・ルカセミナー(大分オアシスタワーホテル)</p> <p>講演1:「網羅的手法による次世代型着床前診断」 倉橋浩樹先生(藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門 教授)</p> <p>座長:植原久司先生(大分大学産科婦人科学 教授)</p> <p>講演2:「単一遺伝子疾患の着床前診断(PGD)の遺伝子診断のみを外部委託し、 PGDを行う新しい試みに関する検討」 田中温先生(セントマザー産婦人科医院 院長)</p> <p>座長:京野廣一先生(京野アトクリニック 理事長)</p> <p>指定発言1:「ポストレポート:新しい時代の出生前診断/着床前診断」 斎藤伸彦先生(新古賀産科婦人科 嘱託医)</p> <p>座長:岡本純英先生(ART 岡本ウーマンズクリニック 院長)</p> <p>指定発言2:「PGSに對してエンブリオスクリーニングは何を求められるだろうか?」 荒木康久先生(群馬バース大学 教授/日本リプロジェネティクス 代表)</p> <p>座長:岡本純英先生(ART 岡本ウーマンズクリニック 院長)</p> <p>ランチョンセミナー:「出生前検査の質保証」 別府弘規先生(株式会社エスエール臨床検査事業検査部 担当部長)</p> <p>座長:吉田淳先生(木塚公園クリニック 院長)</p> <p>講演3:「PCOSの発生機序論」 森英英先生(京都大学 名誉教授/NPO 法人 生殖衛生学アカデミア 理事長)</p> <p>座長:河野康志先生(大分大学医学部産科婦人科 診療教授)</p> <p>講演4:「看護職としてできること 一 遺伝医療の現場から」 青木美紀子先生(聖路加国際大学遺伝診療部 認定遺伝カウンセラー・看護師)</p> <p>座長:浅田義正先生(医療法人 浅田レディースクリニック 理事長)</p> <p>講演5:「わが国の少子化を考える一差異と差別」 吉村泰典先生(内閣官房参事/慶應義塾大学 名誉教授)</p> <p>座長:宮川勇生先生(大分大学 名誉教授)</p>
<p>03.24 柳町隆造先生講演会(福岡) 参加(熊迫、大津)</p> <p>03.24 第24回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会</p> <p>倫理委員長:野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師)</p> <p>倫理委員:上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、 緒方俊一先生(わさだかたりつけ医院泌尿器科クリニック 院長)、 後藤裕子(セント・ルカ産科婦人科 看護師長)、 近藤和子先生(別府平和園 保育士)(五十音順)</p> <p>オブザーバー:神田真由美(セント・ルカ産科婦人科 臨床心理士)</p> <p>03.24 点数改正に伴うメディコム人説明会(大分) 参加(大城、越名)</p> <p>03.24 2015年度 不妊症看護認定看護師教育課程フォローアップ研修 参加(手島)</p> <p>03.25 日本受精着床学会 平成27年度 第3回 理事理事会(東京) 参加(院長)</p> <p>03.26 第93回 新患教室 参加者69名 参加(田川、大城、佐藤、戸高、北田、松元、岡田、神田)</p> <p>03.27 生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナー(福岡) 参加(長木、大津、院長)</p> <p>講演:「良好胚を産む方法」(院長)</p> <p>「培養室業務の基礎と注意点」(大津英子)</p>	<p>06.14 第207回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>06.15 株式会社バラスポ フリーマガジン「ジネコ」秋号(Vol.31)取材</p> <p>06.16 医療カス保安講習会(大分) 参加(北田、赤嶺)</p> <p>06.18 第226回 体外受精教室 参加者44名 参加(田川、青木、大城、佐藤、安東、生野、三重野、山村、浦川、北田、松土、松元)</p> <p>06.19 JISART 施設認定審査 審査員(神田)</p> <p>06.20 平成28年度 大分大学医学部6年次産婦人科実習 荒城里沙さん(～7月1日まで)</p> <p>06.21 マネジメントレビュー</p> <p>06.25 第96回 新患教室 参加者52名 参加(田川、瀧、大城、城戸、生野、山村、浦川、戸高、川村、神田)</p> <p>06.26 JISART 施設認定審査 審査員(越光)</p> <p>06.26 日本看護協会認定 不妊症看護認定看護師資格取得(手島しおり)</p> <p>06.27 AMED 成育疾患克服等総合研究事業 有原班・大須班合同班会議(東京) 参加(安部、院長)</p> <p>06.28 安全管理研修: B型肝炎ウイルスについて(担当:看護部)</p> <p>06.28 第120回 大分県周産期研究会(大分)</p> <p>参加(山路、安部、田川、青木、大城、越名、小池、佐藤、城戸、熊迫、三重野、足立、 山村、浦川、戸高、坂本、手島、北田、赤嶺、松元、越光、後藤香、甲斐、河邊、院長)</p> <p>発表:「体外成熟培養(IVM)後妊娠に至った症例における顕帯血及び 流産絨毛のメチル化状態からみた安全性の確認」(佐藤真由美)</p> <p>「流産経験のある夫婦の会について」(坂本順子)</p>
<p>04.01 新職員 安東智子、三重野小百合、生野法子(メディカルコーディネーター)、甲斐由布子(医局)</p> <p>04.01 日本人類遺伝学会認定 臨床遺伝学認定士資格取得(城戸京子)</p> <p>04.02 第224回 体外受精教室 参加者56名 参加(田川、大城、大津、安東、三重野、生野、齊高、松土、神田)</p> <p>04.02 セント・ルカ産科婦人科 &amp; メディック・ルカ合同お花見(大分・平和市民公園)</p> <p>04.03 第40回 日本遺伝カウンセリング学会/第13回国際人類遺伝学会/第61回日本人類遺伝学会(京都)</p> <p>参加(佐藤、城戸、院長)</p> <p>04.07 福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長)</p> <p>04.08 大分市医師会産婦人科内分泌・不妊・代謝一懇話会(大分)</p> <p>参加(山路、安部、油野、田川、青木、瀧、大城、越名、佐藤、城戸、後藤香、長木、安東、 三重野、生野、浦川、戸高、坂本、北田、齊高、赤嶺、川村、松元、越光、後藤香、神田、 甲斐、河邊、院長)</p> <p>「更年期医療の現状と展望」(国立国際医療研究センター 副院長 矢野哲先生)</p> <p>九州産婦人科内視鏡手術研究会(福岡) 参加(坂本、越光、甲斐、河邊、院長)</p> <p>発表:「当院における異所性妊娠症例の検討」(院長)</p> <p>九州・沖縄生殖医学会(福岡)</p> <p>参加(佐藤、熊迫、坂本、越光、後藤香、神田、甲斐、河邊、院長)</p> <p>発表:「体外成熟培養(IVM)後妊娠に至った症例における顕帯血及び 流産絨毛のメチル化状態からみた安全性の確認」(佐藤真由美)</p> <p>「Strict criteria 精子形態評価法により媒精法を決定する意義について」 - rescue ICSIの成績との比較-」(熊迫陽子)</p> <p>「流産経験のある夫婦の会について」(坂本順子)</p> <p>「流産を経験した夫婦の PGS(着床前スクリーニング)に対する語りの分析」 (神田真由美)</p>	<p>06.29 第13回 大分県母性衛生学会学術集会実行委員会(大分) 参加(後藤香)</p> <p>07.02 第227回 体外受精教室 参加者35名 参加(田川、大城、越名、大津、三重野、山村、北田、齊高、松土、神田)</p> <p>07.03 職員旅行(長崎2泊) 参加(矢野、城戸、後藤香、北田)</p> <p>07.04 32nd Annual Meeting of European Society of Human Reproduction and Embryology (Helsinki)</p> <p>参加(小池、神田、事務長、院長)</p> <p>発表:「Effect of vitrification-warming cycle at the blastocyst stage using two types of closed vitrification systems」(院長)</p> <p>「The Effects of the Cancer Drug Cyclophosphamide on Mouse Fertility」 (小池恵)</p> <p>「Satisfaction with daily life and coping strategies in Couple Relationships and the psycho-education of Sexless Couples (SLCs)」 (神田真由美)</p>
<p>04.12 第205回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>04.16 第94回 新患教室 参加者43名 参加(田川、瀧、後藤香、安東、三重野、生野、浦川、北田、川村、後藤香、神田)</p> <p>04.17 日本卵子学会 平成28年度 生殖補助医療管理胚培養士資格審査(東京) 参加(熊迫)</p>	<p>07.04 平成28年度 大分大学医学部6年次産婦人科実習 迫美美さん(～7月15日まで)</p> <p>07.12 第208回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院</p> <p>07.16 第9回 第10期オリーブの会 参加者2名</p> <p>07.16 第7回 遺伝カウンセリング研修会(札幌) 参加(院長)</p> <p>07.23 第97回 新患教室 参加者58名 参加(油野、田川、青木、瀧、後藤香、三重野、山村、浦川、戸高、足立直、神田)</p>



Table with 2 columns and multiple rows containing dates, event titles, and descriptions of various seminars, conferences, and publications.

妊娠報告件数 (2015.11.1~2016.10.31) 体外受精・顕微授精等 295件 \* その他(体外受精以外) 154件 計 449件



編集後記 今年もまたみなさんのご協力のおかげでルカ新聞No31が無事に出来上がりました。一年を振り返るよい機会になっています。

JISART Japanese Institution for Standardizing Assisted Reproductive Technology

発行:医療法人セント・ルカ セント・ルカ産婦人科/セント・ルカ生殖医療研究所 〒870-0823 大分市東大道1丁目4番5号 ☎097-547-1234 097-547-1221